

■■ 平成 29 年 1 月 30 日 (月) ~ 2 月 12 日 (木) ■■

～ 栄町元気プロジェクト 雪まつりウェルカム事業 ～



第 68 回さっぽろ雪まつり開催期間中 (2 月 1 日～12 日) に「つど一む会場」を訪れる方への歓迎と、おもてなしの気持ちを伝えるため、会場では町内会、各種団体・企業・行政の皆さん延べ約 170 人が参加して、1 月 30 日、31 日の 2 日間、皆さん汗だくになりながらチェーンソーやノミ、スコップを振るい、四角い雪の塊が徐々に「アンパンマン」や「招き猫」に変身していきました。

この事業は、子ども達の健全育成と栄東地区の魅力と活力があふれるまちづくりを目指した『栄東地区子ども未来会議』(代表: 永淵宏 栄東連合町内会長。55 団で構成) が主催したもの。雪像作成スタッフの中には、ひきこもりやニートなどの若者への自立支援を行う「札幌市若者支援総合センター」の利用者延べ 10 名にも参加してもらい、多様な団体の参加・交流と活動支援を行った。



そして、雪のひな壇には、栄小学校 2 年生・3 年生の児童 130 名が制作した表情豊かな可愛らしい雪だるまがきれいに並べられ、色とりどりの「ようこそ雪まつりへ」と書かれたメッセージカードがかけられました。

また、両日とも、連合町内会女性部が、つど一むの厨房でカレーライスと豚汁を作り、雪像制作メンバーの冷えた体を温めてくれました。

今年で第 9 回目となる「栄東ウェルカム雪像」は、国内外から訪れた 72 万人の観光客を出迎え、会場で 1 番人気の撮影スポットになりました。



また、2 月 1 日～12 日までの 12 日間、地下鉄栄町駅では、「歓迎 ようこそ栄町へ」と書かれた横断幕を広げて来場者を歓迎し、会場へ向かうシャトルバスの案内などを行いました。

■■ 平成29年2月1日（水） ■■

～福住地区町内会連合会と栄東連合町内会との交流会～

福住地区町内会連合会（会長：戸崎 良英）と栄東連合町内会（会長：永渕 宏）が交流会を実施しました。これは平成17年3月にスタートした事業で、地下鉄東豊線終点の「福住駅」と「栄町駅」の周辺住民が、まちづくりに関する情報交換を通じて交流する事を目的に行っており、今回で16回目。福住地区から8名、栄東地区から9名、各まちセン所長が参加。

この日は、さっぽろ雪まつり「つどーむ会場」を見学。栄東ウェルカム雪像をバックに秋元市長と一緒に記念撮影を行った後、ホテル ユキタに移動して交流会を開催。

交流会では、双方の町内会役員から、最近の活動状況や、地域の課題などについて説明したのち、昼食をはさんで意見交換を行いました。両地域に共通した町内会の加入率や子どもたちが参加する行事、花植えの活動などの話題で盛り上がり、今後の活動の参考にしたいと双方から質問が出ていました。

最後に、「来年度は福住地区で地域活動の担い手や実施方法について情報交換をしましょう。」と福住地区から提案され、来年度も継続して交流会を実施することを確認しました。



■■ 平成29年2月18日（土） ■■

～ 栄東地区 雪中こども雪フェスタ 2017 ～



栄東地区青少年育成委員会（会長：佐藤 清彦）が主催する「こども雪フェスタ」がひのまる公園で開催され、約90名の子どもが参加。

佐藤会長から「元気に遊ぼう！」の大きな掛け声でイベントがスタート。子どもたちは、「ラジオ体操」で体をほぐした後、ボランティアで参加した東海大学の学生や地域の方々と一緒に、「春夏秋冬鬼ごっこ」、「そりりレー」「玉入れゲ

ーム」などの雪上ゲームに興じ、歓声を上げながら公園内を元気一杯に走り回りました。

全力で「綱引き」を行った後、小学校の校長先生が審査員となってミニ雪像コンクールを実施。

小さな子どもたちは、バケツやスコップを使った「雪あそび」、大学生等と一緒に「そり遊び」や「カルタとり」、児童会館が作成した「ビニールの凧揚げ」などを体験し、雪と親しむ楽しい一日を過ごしました。

